

# 放冷タンク

取扱・組立説明書

NTL・NTH-201

-251

-301


-351

-401

-451

-501

## 安全上の大切なお知らせ

- この放冷タンクを取扱う場合には、正しい方法で、正しく取扱うことが大切です。正しい取扱い方をしないと、予想しない事故を引き起こし、人身障害や財産の損壊を引き起こす恐れがあります。
- 本機を改造しないでください。
- この「取扱説明書」では、予想できるかぎりの危険な状況をあらかじめ知っておいていただくために、警告の内容によって危険な状況を、そのアラートシンボルマーク（）とシグナルワード（危険、警告、注意）を付けて表示しています。



この表示は、指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況を示します。



この表示は、指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性のある危険状況を示します。



この表示は、指示に従わなかった場合、重傷または中程度の障害を負う可能性のある危険状況、または物的損害の発生のみが予測されるような種類の危険状況を示します。

- 本機は、粳・玄米・小麦用として設計してあります。その他の用途では使用できません。

- 本機の取扱いについては、定められた管理者が、必ず安全運転教育を受けておこなってください。

# はじめに

お買い上げありがとうございました。

1. この「取扱説明書」は放冷タンクNTL・NTH-201・251・301・351・401・451・501の安全に関する事項、操作手順および点検整備の手順を説明しています。
2. この「取扱説明書」をよく読んで理解してから、本書の指示に従って、点検整備をしてください。
3. 初めて使う方は、まず全体をよく読んでください。使ったことのある方は、少しでも疑問が生じたら、もう一度読んで確かめてください。
4. 操作するときの重要な取扱いについては、その内容を線で囲み「注記」の文字を付してあります。
5. この「取扱説明書」は、本機のそばに置いて、いつでも誰でも参照できるようにしておいてください。もし、本書を紛失した場合は、購入先へ依頼して取り寄せ、必ず備え付けておいてください。

6. この「取扱説明書」に用いた写真や図は、本書を制作した時点のものです。

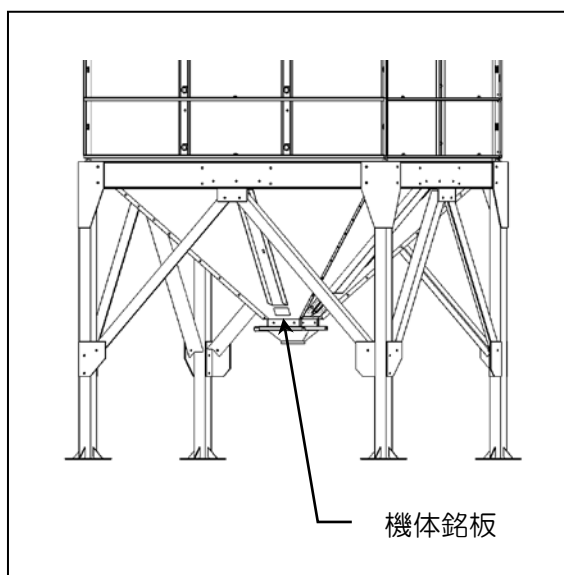
放冷タンクは、製品改良により設計変更をすることがありますので、お客様の放冷タンクの外観が本書の写真や図と部分的に異なることがあります。

しかし、手順は同じですのでこの「取扱説明書」の指示に従ってください。

7. 製品の機体銘板は、図示の位置に貼り付けてあります。この製品についてお問い合わせのときは機体銘板に記載されている「型式名と製造番号」をお知らせください。

8. お買い上げの製品またはこの「取扱説明書」についてご質問などありましたら、購入先へお問い合わせください。

9. この製品を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故などによる補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。



# も く じ

ページ

(表紙裏) 安全上の大切なお知らせ		
	はじめに .....	I
<b>第1章</b>	<b>安全</b> .....	<b>1</b>
1. 1	安全に関する重要警告事項 .....	1
<b>第2章</b>	<b>製品の概要</b> .....	<b>3</b>
2. 1	仕様 .....	3
2. 1. 1	主要諸元 .....	3
2. 1. 2	外形寸法図 .....	4
2. 2	各部の名称 .....	5
<b>第3章</b>	<b>張込み前の準備</b> .....	<b>7</b>
3. 1	シュートの取付け .....	7
<b>第4章</b>	<b>組立て</b> .....	<b>9</b>
4. 1	組立作業時の安全に関する重要警告事項 .....	9
4. 2	取扱い時の安全に関する重要警告事項 .....	10
<b>第5章</b>	<b>組立て前の準備</b> .....	<b>11</b>
5. 1	据付場所の選定 .....	11
5. 2	梱包部品の確認 .....	13
<b>第6章</b>	<b>組立作業</b> .....	<b>15</b>
6. 1	外観 .....	15
6. 2	脚の組立て(その1) .....	16
6. 3	ホッパの組立て(その2) .....	18
6. 4	上箱の組立て .....	22
6. 5	頭部箱・屋根の組立て .....	24
6. 6	屋根の組立て .....	25
6. 7	組立て後の確認事項 .....	26
6. 8	昇降機の組立て(オプション品) .....	27

# 第 1 章

## 安 全

本機の取り扱いを始める前には、必ず下記の重要警告事項を読んで、理解してください。

### 1.1 安全に関する重要警告事項

#### ⚠ 危険

##### 1. 安全上の基本的危険事項

- (1) 子供を本機のそばで遊ばせないでください。重大な人身事故を起こす恐れがあります。
- (2) 作業をするときは、右図のような作業にあつたきちんとした服装でおこなってください。機械に巻き込まれたりする恐れがあります。
- (3) 二人以上で作業をするときは、安全のために声を掛け合っておこなってください。
- (4) 本機の屋根に上がらないでください。屋根に上がると、転落して、死亡する恐れがあります。



## 危険

### 2. 据付け時の危険事項

- (1) 据付場所は、運転操作・点検・調整ができる明るい場所にしてください。暗い場所で運転操作・点検・調整をすると、重大な事故を起こす恐れがあります。
- (2) 据付場所は、下記の条件を満たす場所にしてください。軟弱な地面や水平でない場所に設置すると、貯蔵中に傾いてしまう恐れがあります。
  - コンクリートなどで作られた水平な場所であること。
  - 本機の全重量（仕様の項に明記）に長期間、十分耐えられる場所であること。また、アンカーボルトが打ち込むことができるコンクリート厚みがあること。

### 3. 操作上の危険事項

本機を使用する人は決められた人であって、この「取扱説明書」を十分に理解している人の他は使用してはいけません。人身事故につながる恐れがあります。

### 4. 点検・調整・整備上の危険事項

本機の点検・調整・整備をおこなうときは、必ず、タンク内の穀物が無い状態にしてください。死亡事故につながる恐れがあります。

# ○ 第 2 章 ○ 製品の概要

## 2.1 仕様

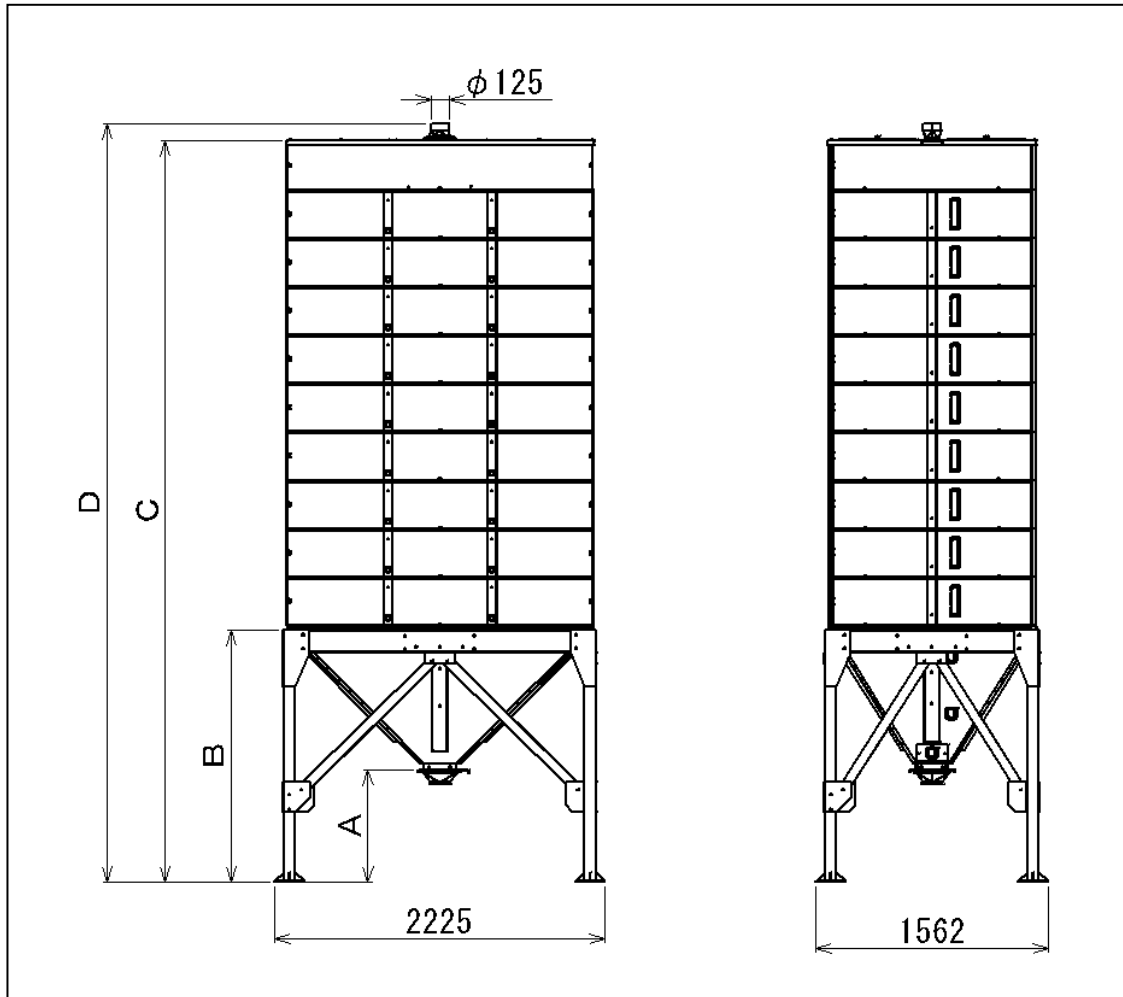
### 2.1.1 主要諸元

項 目		単位	仕 様						
型 式		—	NTL -201	NTL -251	NTL -301	NTL -351	NTL -401	NTL -451	NTL -501
穀物の種類と 処理量 (1 回分)	粳 (630kg/m <sup>3</sup> )	kg	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000
	小麦 (800kg/m <sup>3</sup> )	kg	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000
機 械	全 長	mm	1570						
	全 幅	mm	2 230						
寸 法	全 高	mm	3150	3480	3800	4130	4460	4780	5110
	タンク出口高さ	mm	750						
架台設置の必要寸法		mm	2300×1600						
機 体 質 量 (全質量)		kg	471 (約 3500)	506 (約 4050)	541 (約 4600)	576 (約 5100)	611 (約 5650)	646 (約 6200)	681 (約 6750)

項 目		単位	仕 様						
型 式		—	NTH -201	NTH -251	NTH -301	NTH -351	NTH -401	NTH -451	NTH -501
穀物の種類と 処理量 (1 回分)	粳 (630kg/m <sup>3</sup> )	kg	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000
	小麦 (800kg/m <sup>3</sup> )	kg	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000
機 械	全 長	mm	1570						
	全 幅	mm	2 230						
寸 法	全 高	mm	4110	4440	4760	5090	5410	5740	6070
	タンク出口高さ	mm	1707						
架台設置の必要寸法		mm	2300×1600						
機 体 質 量 (全重量)		kg	522 (約 3550)	542 (約 4100)	577 (約 4600)	612 (約 5150)	647 (約 5700)	682 (約 6250)	717 (約 6800)

※ 仕様内容を改良のため変更することがありますので、ご了承ください。

## 2.1.2 外形寸法図



単位：mm

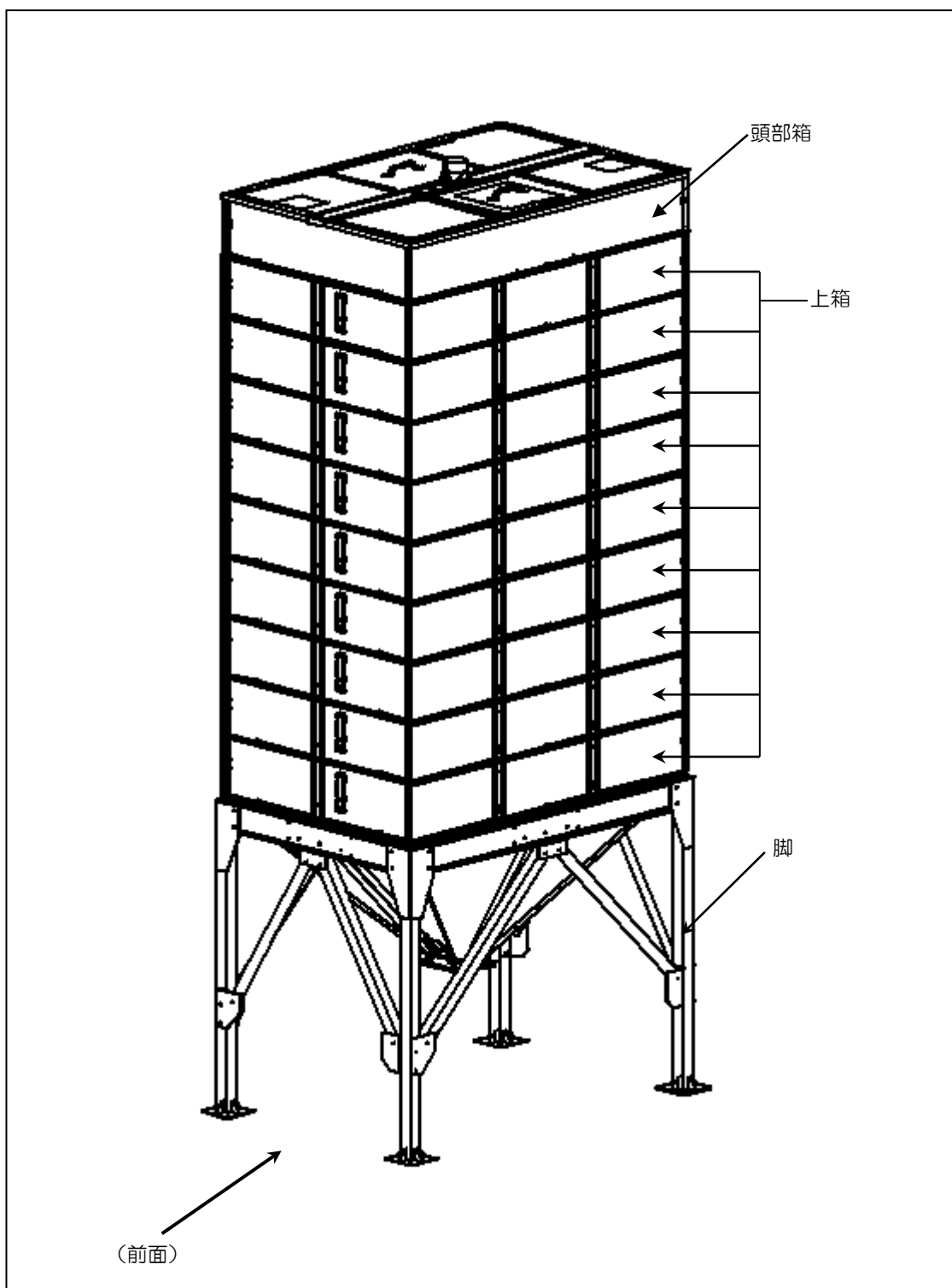
型 式	NTL-201	NTL-251	NTL-301	NTL-351	NTL-401	NTL-451	NTL-501
A	750	←	←	←	←	←	←
B	1690	←	←	←	←	←	←
C	3040	3360	3690	4020	4340	4670	4990
D	3150	3480	3800	4130	4460	4780	5110

単位：mm

型 式	NTH-201	NTH-251	NTH-301	NTH-351	NTH-401	NTH-451	NTH-501
A	1707	←	←	←	←	←	←
B	2650	←	←	←	←	←	←
C	4000	4320	4650	4970	5300	5630	5950
D	4110	4440	4760	5090	5410	5740	6070



## 2.2 各部の名称





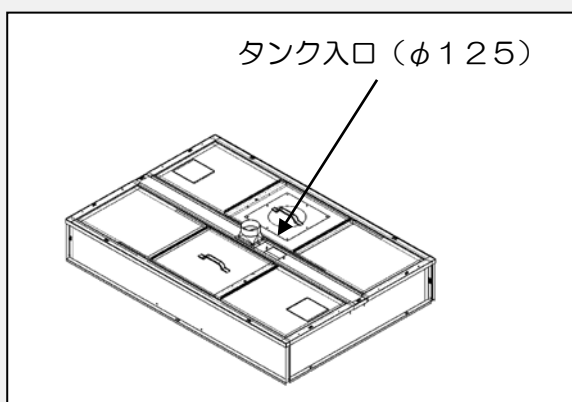
# 第 3 章

## 張込み前の準備

### 3.1 シュートの取付け

#### ⚠ 危険

- 搬送機とタンク入口の取付けは、高所作業となり大変危険です。搬送機とタンク入口を接続するときは、足場、命綱を使用して落下防止に努めてください。



- ① 搬送機とタンク入口を接続してください。
- ② 接続部品は付属していませんので、搬送機とタンク入口に合った物を準備してください。



# 第 4 章

## 組 立 て

本機の組立てを始める前には、必ず下記の重要警告事項を読んで、理解してください。

### 4. 1 組立作業時の安全に関する重要警告事項

- 本機の組立作業は、「フルハーネス型墜落制止用器具使用従事者特別教育」を受講した方が、教育内容を順守しておこなってください。

#### ⚠ 危険

##### 1. 安全上の基本的危険事項

(1) 本機の組立作業は、高所作業であるので、ヘルメット、袖裾のしまった服、切創防止用手袋、底のすべらない靴、フルハーネス型墜落制止用器具を着用しておこなってください。ヘルメット着用時は、あご紐をしっかりと締めてください。高所からの落下による死亡事故につながる恐れがあります。



(2) 組立作業は、高所作業であると同時にグループ作業であるので、部品の手渡しはお互いに合図を確認しながらおこなってください。部品が重量物であり、死亡事故につながる恐れがあります。

## 危険

### 2. 据付け時の危険事項

- (1) 据付場所は、点検・調節・整備ができる明るい場所にしてください。  
暗い場所で点検・調節・整備をすると、重大な事故を起こす恐れがあります。
- (2) 据付場所は、下記の条件を満たす場所にしてください。軟弱な地面や水平でない場所に設置すると、運転中に傾いてしまう恐れがあります。
  - コンクリートなどの不燃材料で作られた水平な場所であること。
  - 本機の全質量（取扱説明書の仕様の項に明記）に長期間、十分耐えられる場所であること。
  - 本機の全重量（仕様の項に明記）に長期間、十分耐えられる場所であること。また、アンカーボルトが打ち込むことができるコンクリート厚みがあること。

## 4. 2 取扱い上の安全に関する重要警告事項

- 本機を使用する前には、必ず下記の重要警告事項を読んで理解してください。

## 危険

### 1. 安全上の基本的危険事項

- (1) 本機を使用するときは、「取扱説明書」の指示に従ってください。誤った取り扱いをすると、死亡事故につながる恐れがあります。
- (2) 子供を本機のそばで遊ばせないでください。重大な人身事故を起こす恐れがあります。
- (3) 二人以上で作業をするとき、安全のために声を掛け合っておこなってください。

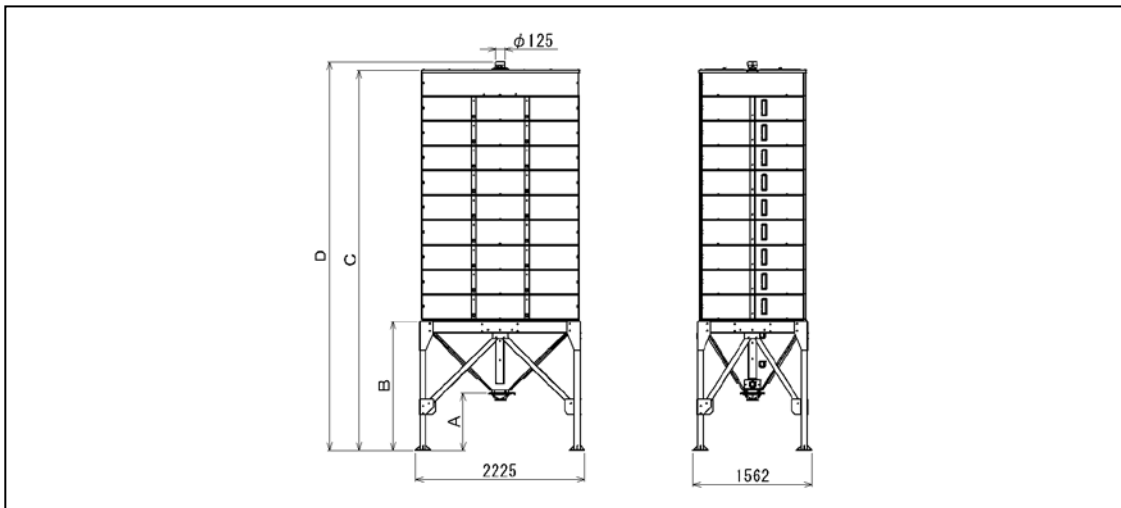
# 第 5 章

## 組立て前の準備

### 5. 1 据付場所の選定

- 据付場所は、下記条件を満足する場所を選定してください。
- 本機の据付場所は、張込みの位置、穀物の排出場所、各接続機器の配置について、お客様のご意向をよく聞いて選定してください。据付け後の変更は容易でないことがあります。

#### (1) スペース



単位 : mm

型 式	NTL-201	NTL-251	NTL-301	NTL-351	NTL-401	NTL-451	NTL-501
A	750	←	←	←	←	←	←
B	1690	←	←	←	←	←	←
C	3040	3360	3690	4020	4340	4670	4990
D	3150	3480	3800	4130	4460	4780	5110

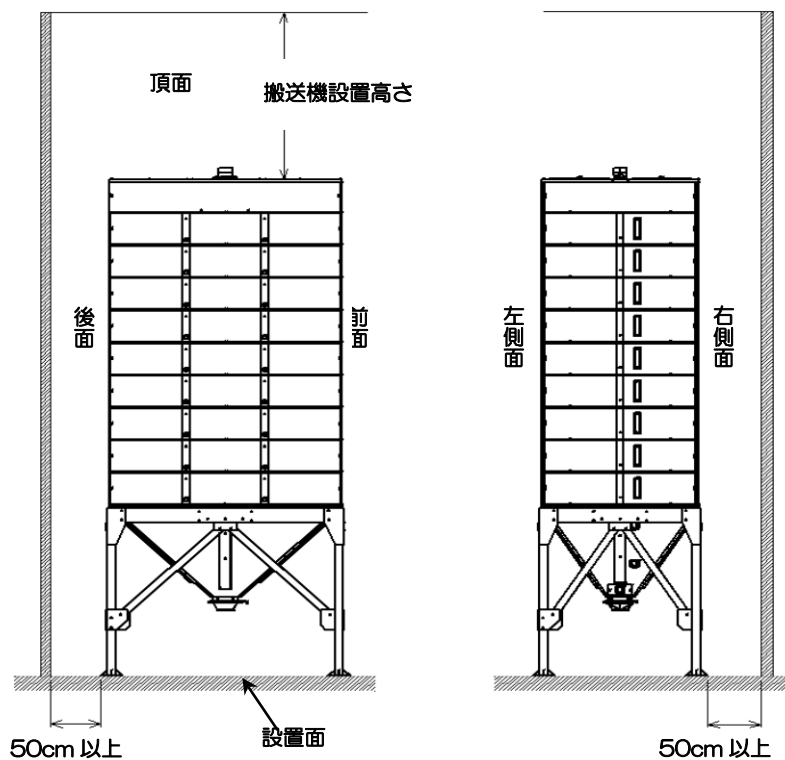
単位 : mm

型 式	NTH-201	NTH-251	NTH-301	NTH-351	NTH-401	NTH-451	NTH-501
A	1707	←	←	←	←	←	←
B	2650	←	←	←	←	←	←
C	4000	4320	4650	4970	5300	5630	5950
D	4110	4440	4760	5090	5410	5740	6070

- ① 本機の占めるスペースは、前頁に示すとおりです。
- ② 昇降機（オプション）の取付位置は、以下の4ヶ所から選べます。
  - 本体右側面
  - 本体左側面
  - 本体前面
  - 本体後方面
- ③ 本機頂面部は、昇降機を設置する時に、十分なスペースがあること。

**▲ 注意**

- 昇降機は、お客様のご要望に応じて、本体の前面・後面・左側面・右側面に取り付けることができます。



(2) 設置面

- ① コンクリートなどで作られた水平な場所であること。
- ② 本機の全重量に長期間耐えられること。
- ③ コンクリート強度が $210\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上であること。

(3) 作業面

- ① 本機の操作面は、明るく、出入りが自由であること。
- ② 本機の周囲は、点検・調整などをおこなうことができること。



## 5.2 梱包部品の確認

(1) 梱包数を確認してください。

型 式	NTL-201 NTH-201	NTL-251 NTH-251	NTL-301 NTH-301	NTL-351 NTH-351	NTL-401 NTH-401	NTL-451 NTH-451	NTL-501 NTH-501
梱包数	15個	16個	17個	18個	19個	20個	21個

(2) 各梱包の型式に誤りがないことを確認してください。

(3) 梱包内の部品に負数不足がないことを確認してください。

(4) 梱包内の部品に不良品がないことを確認してください。

(5) 上記(1)～(4)の中で異常がある場合には、製造元へ製造番号と部品名称と必要個数を連絡してください。

### ● 梱包の明細表

分類	梱包数	部品名	個数	分類	梱包数	部品名	個数
1 梱包	4	脚	1	6 梱包	1	アジャスタ枠A	2
2 梱包	1	脚金具A	4			アジャスタ枠B	2
		脚金具B	4			張り線A	1
		脚補強A	4			張り線B	2
		脚補強B	4			張り線C	1
3 梱包	2	枠A	1			張り線押えA	4
		枠B	1			張り線押えB	4
4 梱包	1	ホッパA	2			屋根	1
5 梱包	1	ホッパB (窓付き)	2			屋根A	2
						屋根フタ	2
						屋根のぞき窓	1
						屋根のぞき窓蓋	1
						屋根スライド板	1

分類	梱包数	部品名	個数	分類	梱包数	部品名	個数	
7 梱包	20石・・・3個	上箱前面板	1	8 梱包	1	頭部后面板	2	
		上箱后面板	1			頭部側面板	2	
	30石・・・5個	中上箱側面板	2	9 梱包	1	フランジA	1	
	35石・・・6個	補強パイプ	2			シャッタ	1	
	40石・・・7個					張線	1	
	45石・・・8個					ビス袋	1	
	50石・・・9個 (AEの15-14 梱包 と共通)						タンク出口	1
							タンク入口	1
							ビス袋	1
				取扱説明書	1			
				張線金具	8			

● 梱包の組立用ビス袋明細

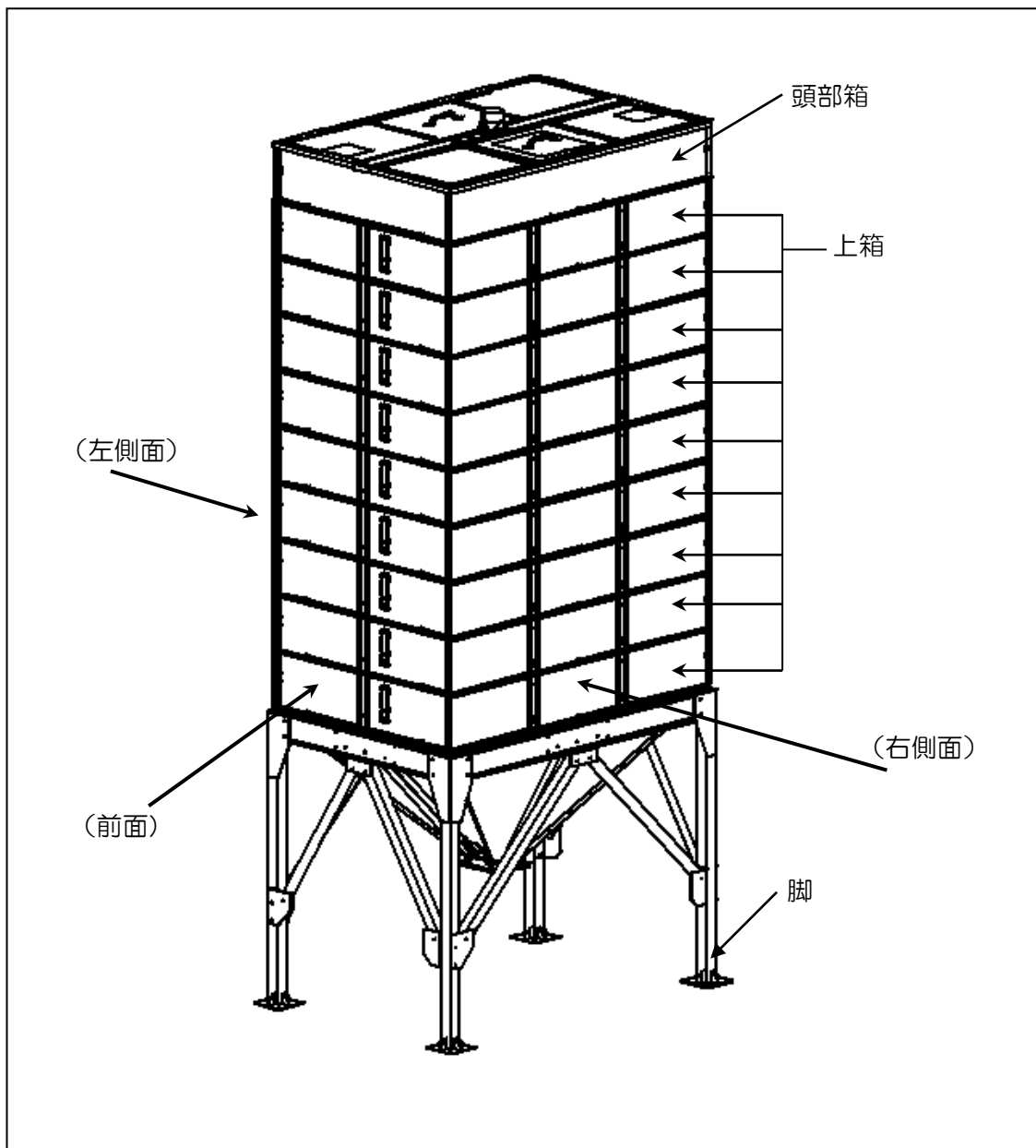
NTL・NTH-201、251、301、351、401、451、501とも共通

使用箇所	品名	規格	ボルト	ナット	座金	平座金
脚金具A・B	ボルト	M10×110	8			
	バネ座金	M10			8	
	平座金	M10				8
	ナットCSW	M10		8		
枠A・B	ボルトSPW	M10×25	24			
	ナットCSW	M10		16		
脚補強A・B	ボルトSPW	M10×35	16			
	ナットCSW	M10		16		
アジャスタ枠A	ボルトSPW	M8×25	20			
	ナットCSW	M8		20		
アジャスタ枠B	ボルトSPW	M8×25	12			
	ナットCSW	M8		12		
ホッパA・B	ボルトSPW	M10×25	40			
	ナットCSW	M10		40		
張り線押えA・B	ナット	M10		8		
フランジA	ボルトSPW	M10×25	8			
	ナットCSW	M10		8		
タンク入口	ナットCSW	M6		2		
脚	アンカーボルト	M12×70	8			
予備	ボルトSPW	M10×25	1			
	ボルトSPW	M8×25	1			

# 第 6 章

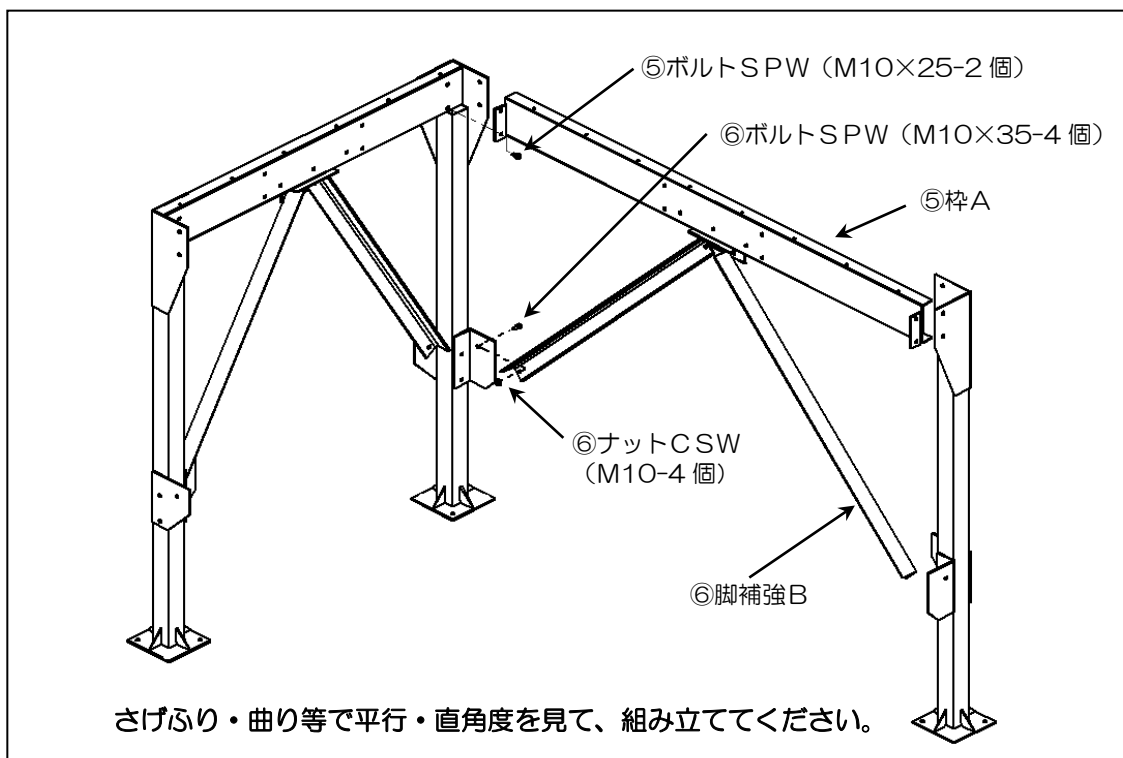
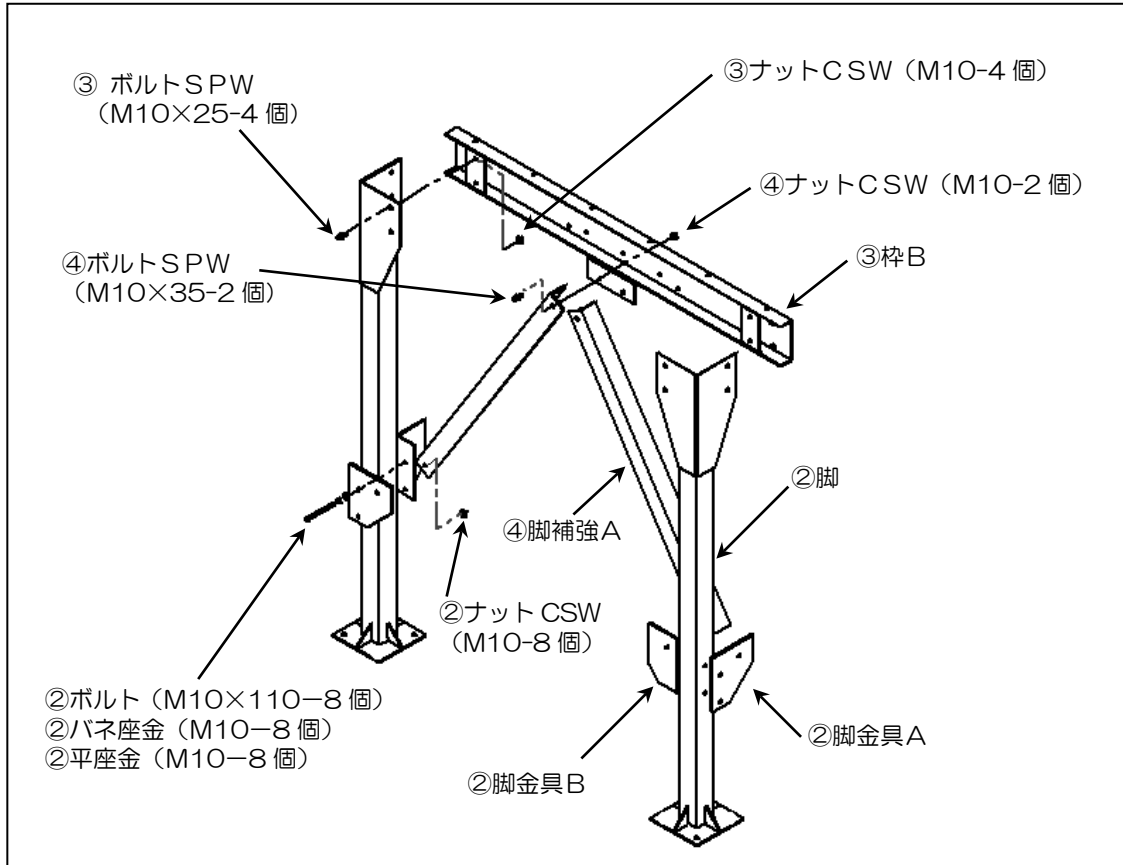
## 組立作業

### 6. 1 外觀



## 6.2 脚の組立て (その1)

- 下記の手順に従って組立てをおこなってください。



## ⚠ 注意

- 開梱した部品を持ち運ぶときは、切創防止用手袋を着用して持ち運んでください。素手で持ち運ぶと、鉄板の切り口などで手を傷つけることがあります。

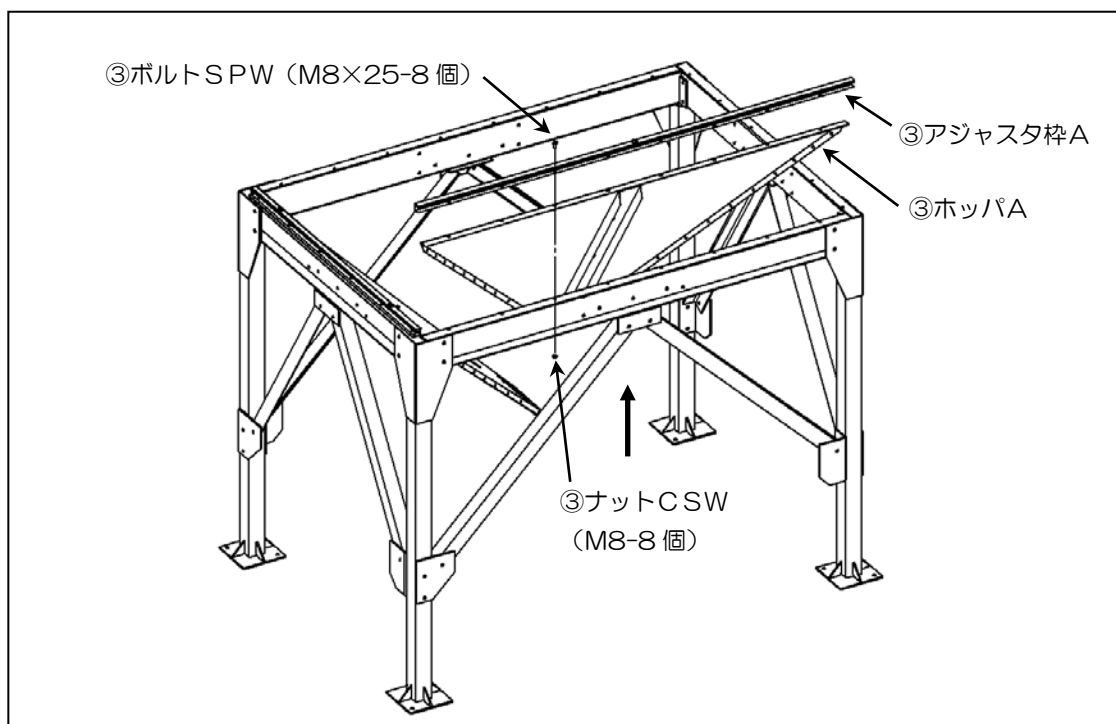
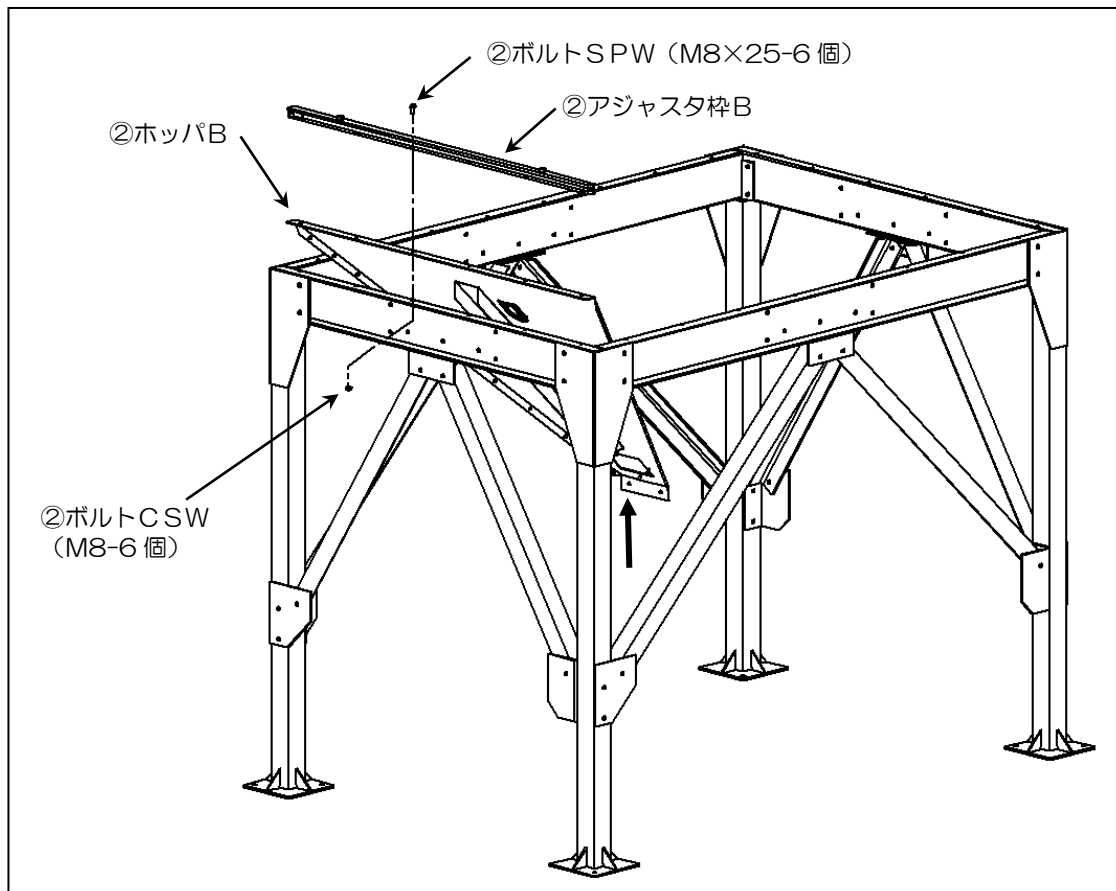
- ① 1 梱包、2 梱包、3 梱包の部品を用意してください。
  - 脚固定用のアンカーボルトを打ち込みますので、打込み位置に目印をしてください。本機を組み立ててからの移動は、困難になる恐れがあります。
- ② 脚 2 本を立てて、各脚に脚金具A・Bをボルト（M10×110-8 個）とバネ座金・平座金（M10-各 8 個）、ナットCSW（M10-8 個）で仮組みしてください。
- ③ 枠Bを各脚にボルトSPW（M10×25-4 個）とナットCSW（M10-4 個）で仮組みしてください。
- ④ 脚補強Aを枠Bと脚金具A・BにボルトSPW（M10×25-4 個）とナットCSW（M10-4 個）で仮組みしてください。
- ⑤ 3 本目の脚を立てて、枠Aを先に立てた脚と3本目の脚の上に載せ、枠Aと枠BをボルトSPW（M10×25-2 個）で仮組みします。
- ⑥ 脚補強Bを枠Aと脚金具A・BにボルトSPW（M10×25-4 個）とナットCSW（M10-4 個）で仮組みしてください。
- ⑦ 上記要領で、残りの脚と枠を仮組みしてください。

## 注 記

- 脚の組立ては、ホッパが組みあがるまで、全てのねじを仮締めの状態にしておいてください。

## 6. 3 ホッパの組立て (その2)

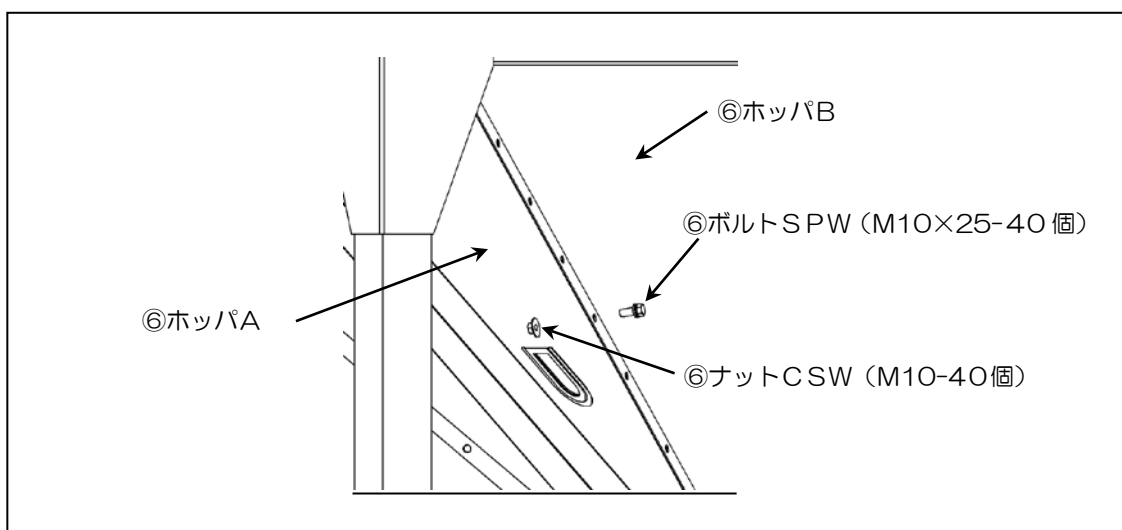
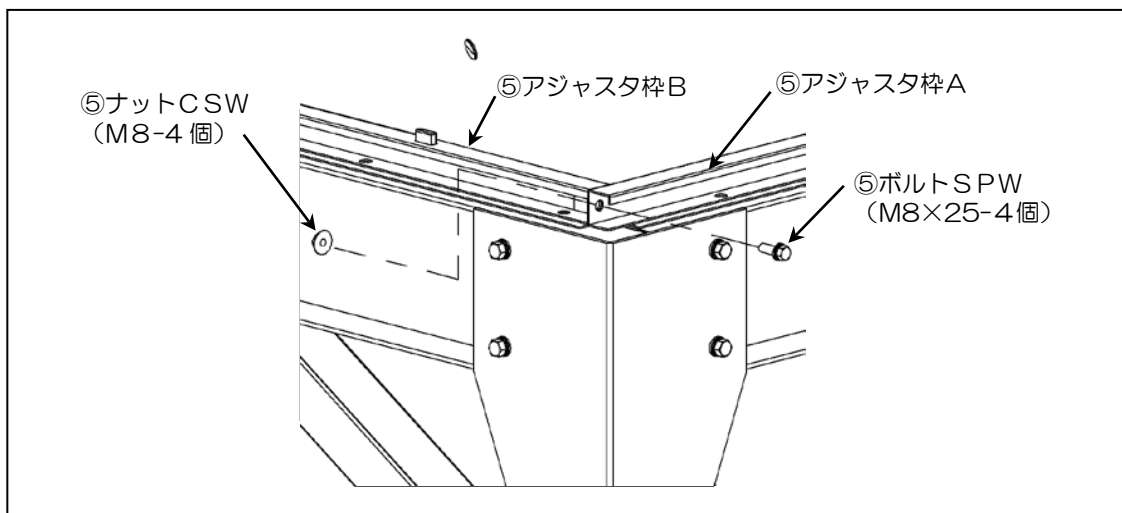
- 下記の手順に従って組立てをおこなってください。



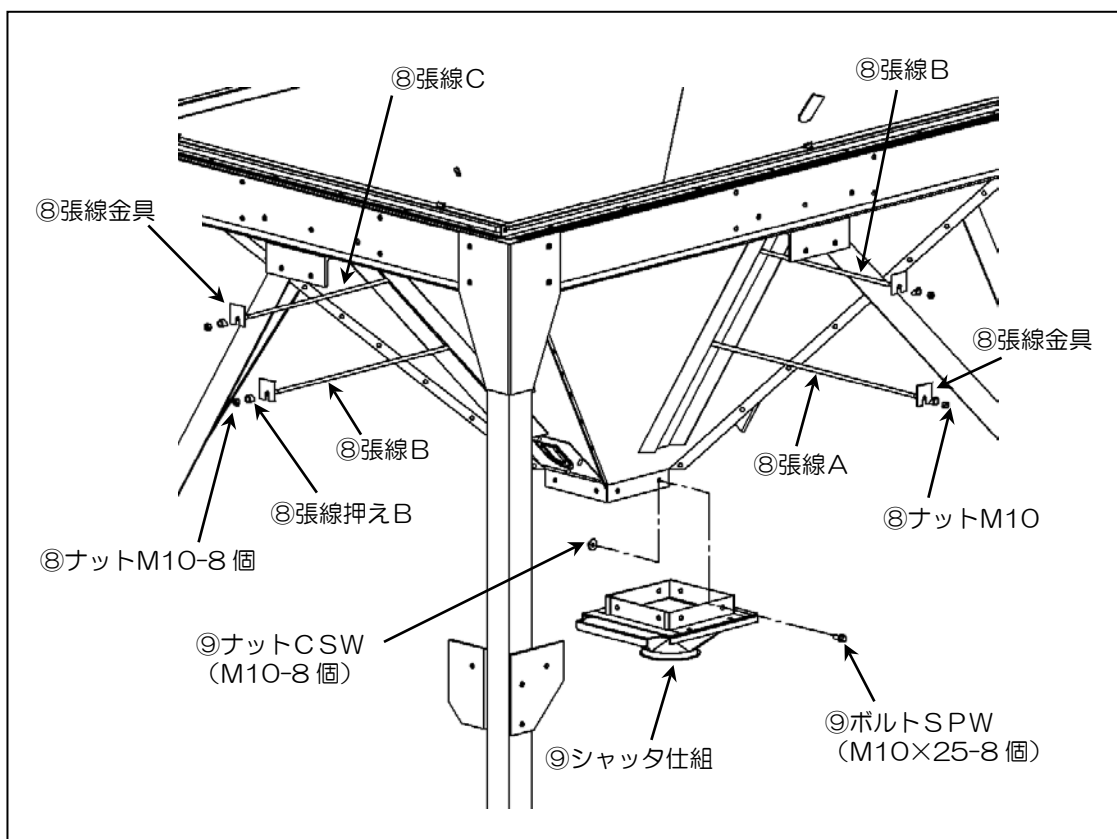
**⚠ 危険**

- 組立作業は、高所作業であると同時にグループ作業であるので、部品の手渡しはお互いに合図を確認しながらおこなってください。部品が重量物であり、死亡事故につながる恐れがあります。

- ① 1 梱包、2 梱包の部品を用意してください。
- ② ホッパBを脚と枠の内側より入れて、アジャスタ枠Bをボルト SPW (M8×25-6 個) とナットCSW (M8-6 個) で仮組みしてください。
- ③ ホッパAとアジャスタ枠Aをボルト SPW (M8×25-8 個) で共締めしてください。
- ④ 上記要領で、残りのホッパA・Bとアジャスタ枠A・Bを組んでください。



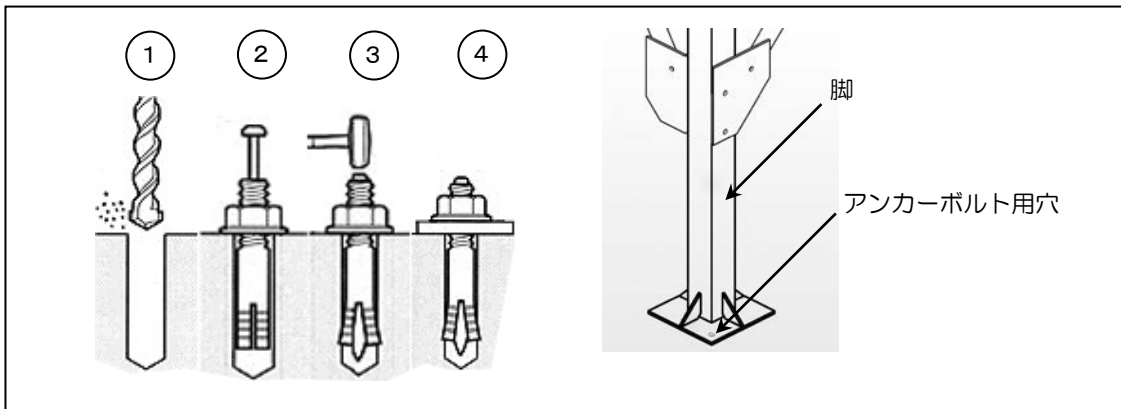
- ⑤ アジャスタ枠Aとアジャスタ枠Bの四隅をボルトSPW (M8×25-4 個) で仮締めしてください。
- ⑥ ホッパAとホッパBの四隅をボルトSPW (M10×25-40個) で仮締めしてください。
- ⑦ すべての部品にボルト・ナットを仮止めしたら、最後に全てのボルト・ナットを本締めしてください。



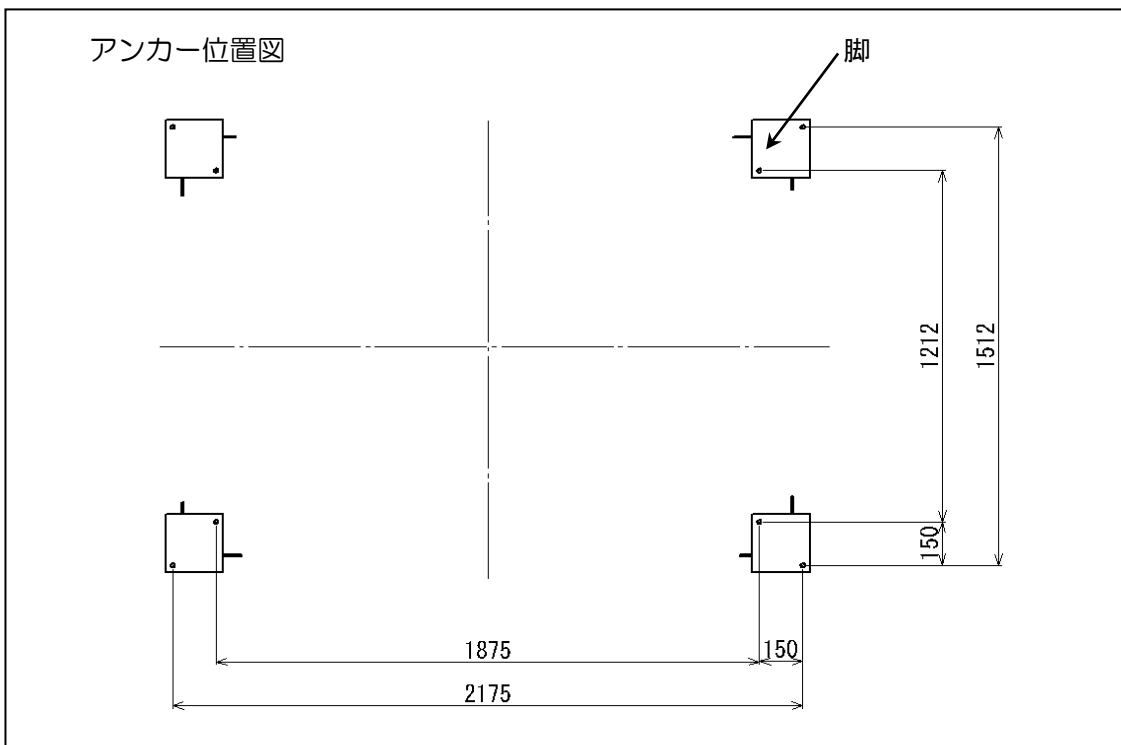
- ⑧ 張線A・B・Cをそれぞれ、ホッパの穴に通し、張線金具、張線押えA・BとナットM10で固定してください。
- ⑨ シャッタ仕組を、ボルトSPW (M10×25-8個) とナットCSW (M10-8個) で固定してください。
- ⑩ 全ての部品の組付けが終わったら、脚をアンカーボルト8本で固定してください。



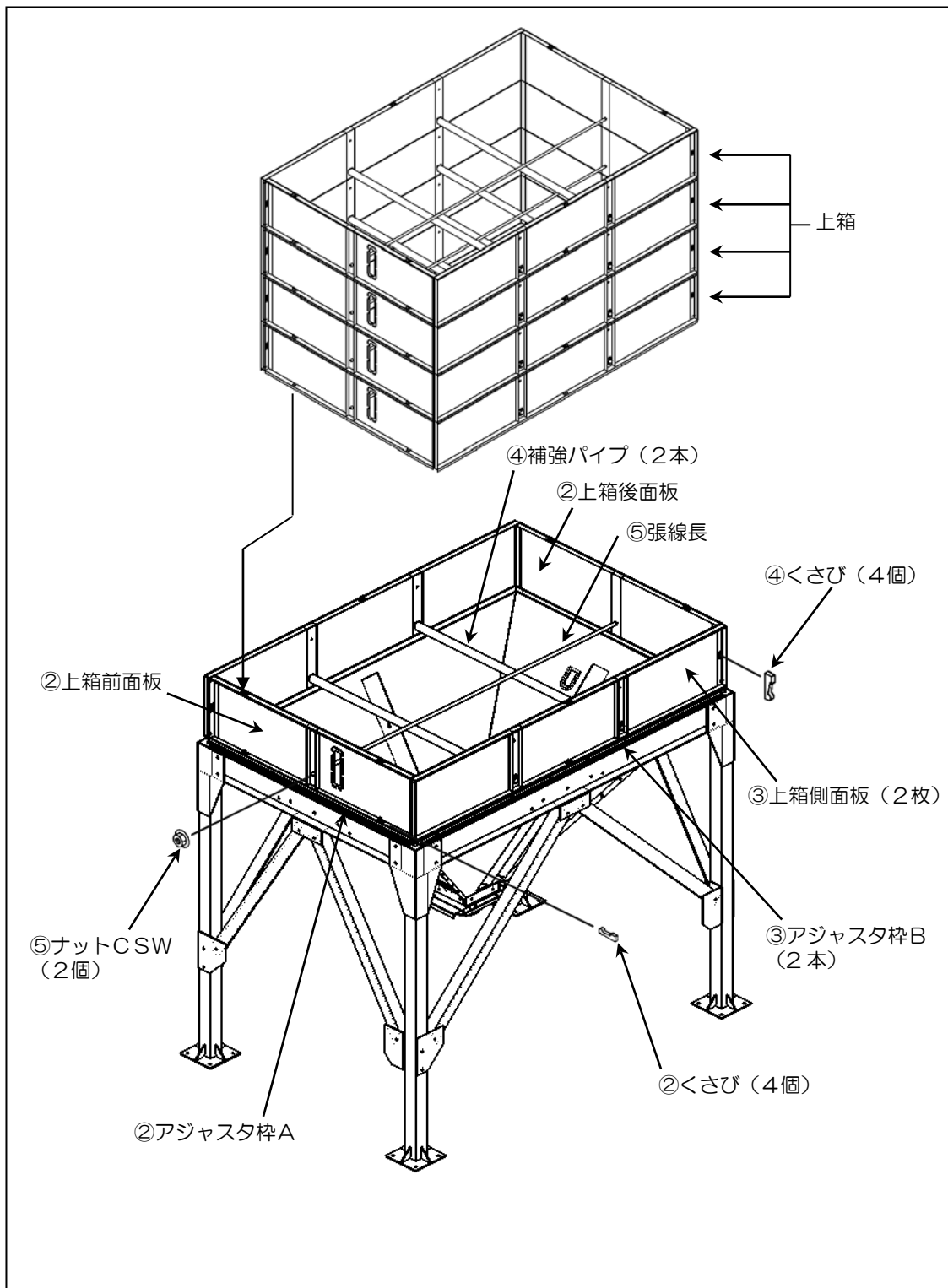
● アンカーボルトの施工方法



- ① コンクリート等にφ12、7ドリルで下穴を明け、コンクリート粉を取り出して穴の中をきれいにします。
- ② 下穴にアンカーボルトを入れます。ナットの位置は、脚を取り付けたときにボルトの頭が少し出る程度にします。
- ③ ハンマーで芯棒を打ち込みます。スリーブ部が開き、下穴のコンクリート面に食い込んで固定されます。
- ④ 脚を取り付け、ナットを締めます。



## 6. 4 上箱の組立て



- ① 7梱包（※注）の部品を用意してください。  
（7梱包は、AE 15-14梱包 上箱前面板 上箱側面板と表示しています。）
  - ② 上箱前面板・後面板をアジャスタ枠Aに組み付けて、くさび（4個）で固定してください。
  - ③ 上箱側面板をアジャスタ枠Bに組み付けて、くさび（2個）で固定してください。
  - ④ 補強パイプ（2本）を上箱側面板の穴に通し、くさび（4個）で固定してください。
  - ⑤ 張線長を上箱前面板と上箱後面板の穴に通し、六角ナットCSW（M10-2個）で固定してください。
- 同じように①～⑤の要領で石数分を組立ててください。

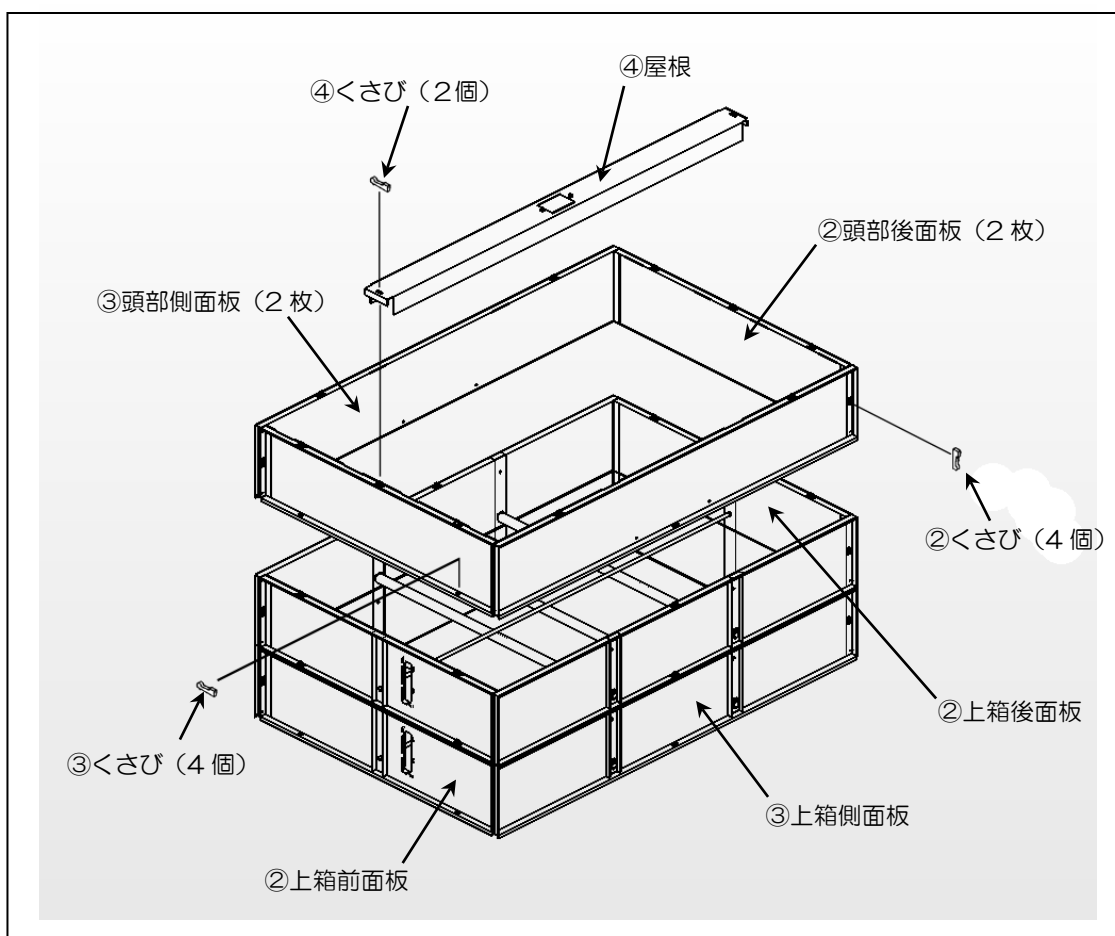
### 注 記

- 上箱段数の使用個数は以下のとおりです。

（NTL・NTH共通）

型式名	7梱包個数
20石	3
25石	4
30石	5
35石	6
40石	7
45石	8
50石	9

## 6. 5 頭部箱・屋根の組立て

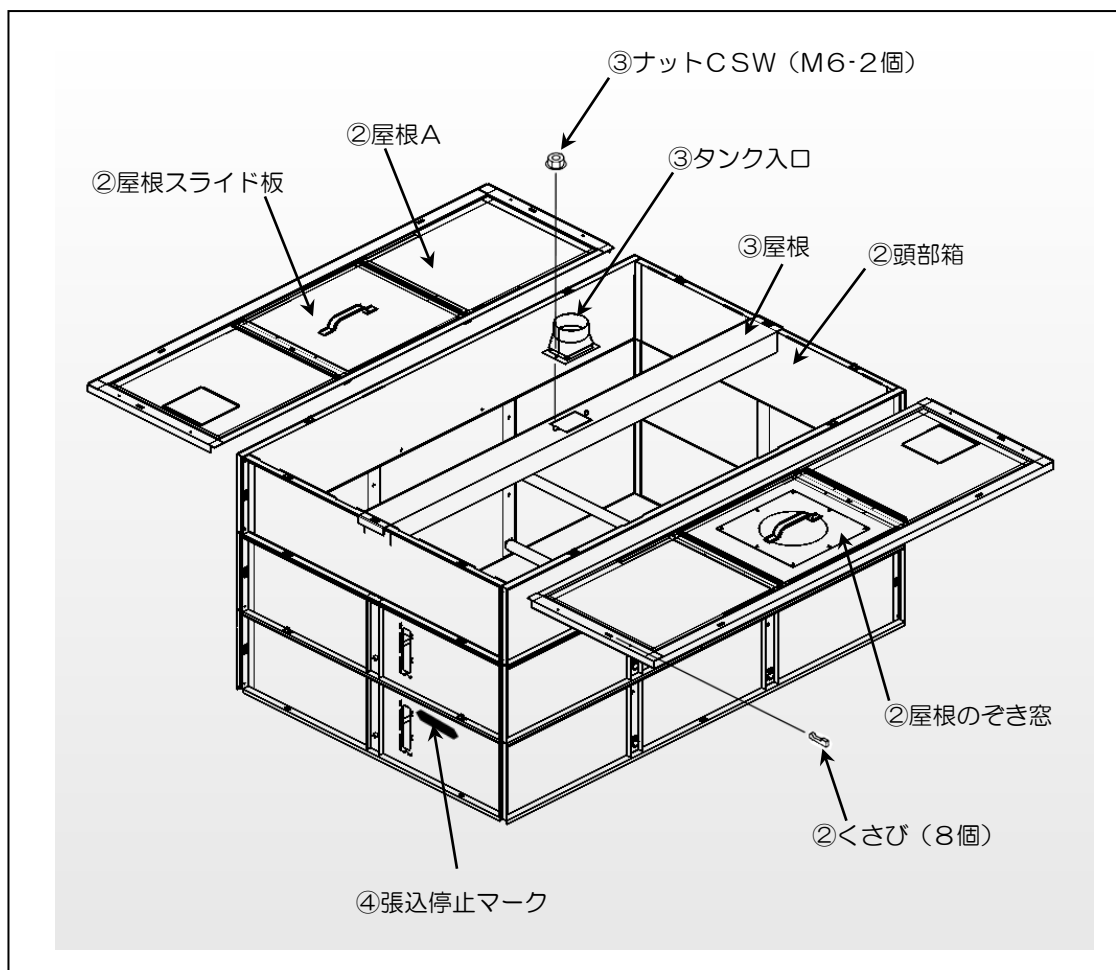


### ⚠ 危険

- 本機の組立作業は、高所作業であるのでヘルメット、袖のしまった服、切創防止用手袋、底のすべらない靴、フルハーネス型墜落制止用器具を着用しておこなってください。高所からの落下による死亡事故につながる恐れがあります。

- ① 6梱包、8梱包の部品を準備してください。
- ② 頭部後面板 (2枚) を上箱前面板と上箱後面板に組み付けて、くさび (4個) で固定してください。
- ③ 頭部側面板 (2枚) を上箱側面板に組み付けて、くさび (4個) で固定してください。
- ④ 屋根を頭部後面板に組み付けて、くさび (2個) で固定してください。

## 6. 6 屋根の組立て



- ① 6梱包、9梱包の部品を用意してください。
- ② 屋根A (2枚) を頭部箱に組み付けて、くさび (8個) で固定してください。  
屋根スライド板と屋根のぞき窓は、設置状況に合わせて組付けしてください。
- ③ タンク入口を屋根に組み付けて、ナットCSW (M6) で固定してください。
- ④ 張込停止マークを頭部箱部から数えて3段目の、のぞき窓上端の右側に貼り付けてください。

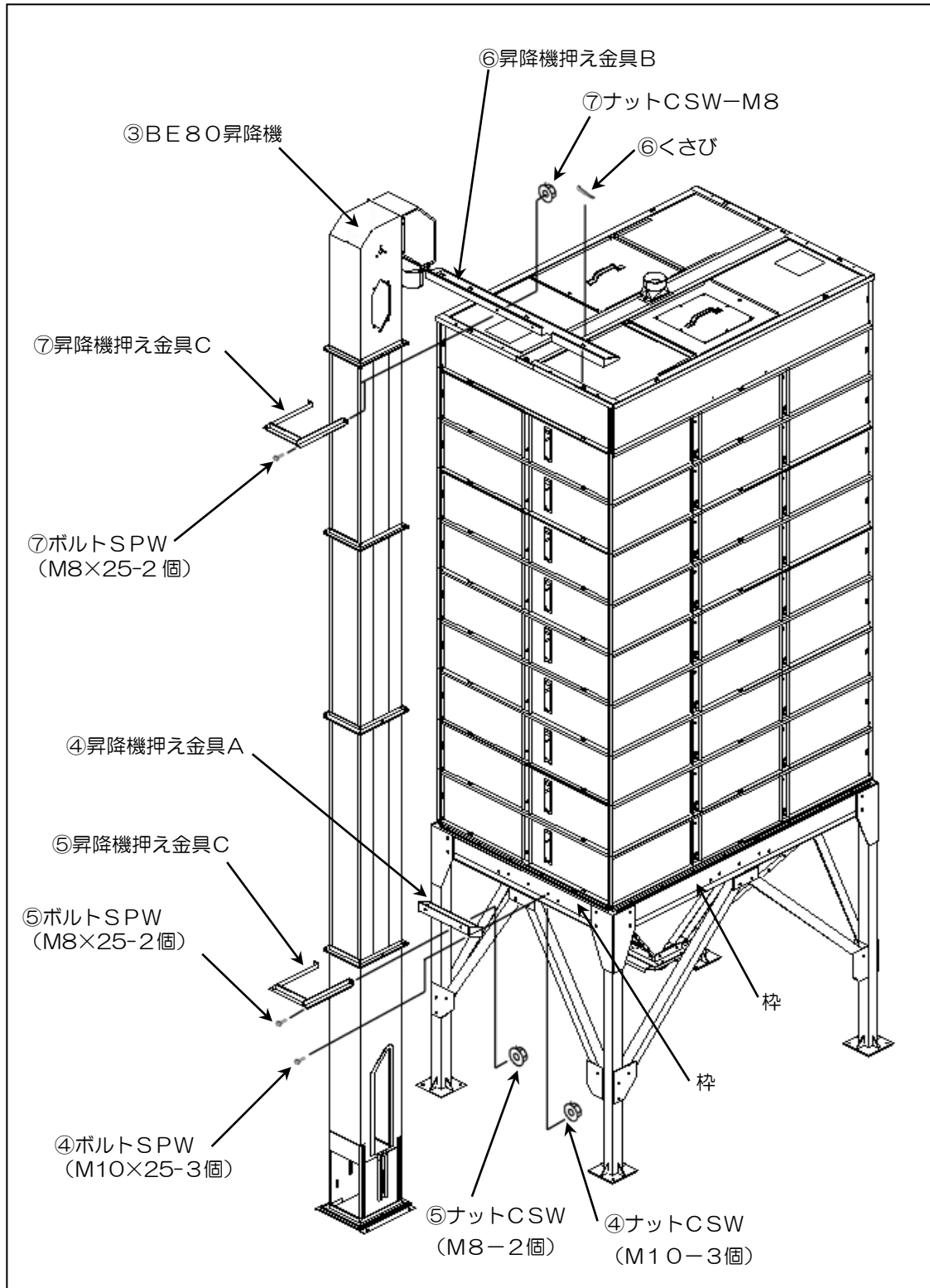
※張込停止マークは必ず貼り付けてください。

## 6. 7 組立て後の確認事項

- (1) ボルト・ナットを使用して締め付けた箇所は、必ず確実に締まっていることを確認してください。
- (2) くさびを打ち込んだ箇所は、必ず確実に打ち込まれていることを確認してください。
- (3) 組立て誤りがないことを確認してください。  
※ 取付け忘れの部品がなければ問題ありません。  
(ボルト・くさびの数は必要個数より多く入っています。)
- (4) 本機の中にボルト・ナット・くさび、あるいは工具などを置き忘れていないことを確認してください。

## 6. 8 昇降機の組立て (オプション品)

- 下記の手順に従って組立ててください。  
本機に昇降機を付ける場合は、別途 BE80 (別売り) が必要になります。  
昇降機は、本機4面に取付け可能です。



● 石数別適応昇降機

① 本機に昇降機を取り付けるときは、石数に適応した昇降機を選定してください。

● NTL 用

機 種	石数	全高(mm)	適用昇降機	全高 (mm)
放冷タンク	20石入	3150	BE80-524C	5240
	25石入	3480		
	30石入	3800		
	35石入	4130	BE80-578C	5780
	40石入	4460		
	45石入	4780	BE80-643C	6430
	50石入	5110		

● NTH 用

機 種	石数	全高(mm)	適用昇降機	全高 (mm)
放冷タンク	20石入	4110	BE80-578C	5780
	25石入	4440		
	30石入	4760	BE80-643C	6430
	35石入	5090		
	40石入	5410	BE80-697C	6970
	45石入	5740		
	50石入	6070	BE80-762C	7620

② 昇降機を取り付けるとき、昇降機固定金具セットも別途必要です。

昇降機固定金具セットには、昇降機押え金具A・B・Cそれぞれが入っています。

③ 昇降機 BE80 を用意してください。

● 昇降機の組付けは、BE80 の組立説明書を参照してください。

④ 昇降機を立てて、昇降機押え金具Aを枠にボルト SPW (M10×25-3 個) とナットCSW (M10) で固定してください。

⑤ 昇降機押え金具Cで、昇降機本体と昇降機押え金具Aをボルト SPW (M8×25-2 個) とナットCSW (M8) で固定してください。

⑥ 昇降機押え金具Bをタンク本体の屋根を押えているくさびをはずし、共締めしてください。

⑦ 昇降機押え金具Cで、昇降機本体と昇降機押え金具Bをボルト SPW (M8×25-2 個) とナットCSW (M8) で固定してください。

**⚠ 危険**

- 組立作業は、高所作業であると同時にグループ作業であるので、部品の手渡しはお互いに合図を確認しながらおこなってください。部品が重量物であり、死亡事故につながる恐れがあります。



## お客様相談窓口

製造元	株式会社	山本製作所
農機事業部	☎	(0237) 43-8811
北海道営業所	☎	(0126) 22-1958
東北営業所	☎	(0237) 43-8828
関東営業所	☎	(0285) 25-2011
新潟営業所	☎	(025) 383-1018
東海営業所	☎	(0566) 75-8001
大阪営業所	☎	(06) 4863-7611
岡山営業所	☎	(086) 242-6690
四国営業所	☎	(087) 879-4555
九州営業所	☎	(096) 349-7040

## 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後12年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

## 解体・廃棄について

解体は、組立て作業の逆の手順でおこなってください。  
廃棄する部品は、分別して処分してください。

製造元 **株式会社 山本製作所**

本社 山形県天童市  
東根事業所 〒999-3701 山形県東根市大字東根甲 5800-1  
TEL (0237) 43-3411 (代)